



TIAニュース

NO.2 1991

編集・発行 | 財団法人 高松市国際交流協会
〒760 高松市番町一丁目8番15号 高松市国際交流課内

みんなで国際理解を深める——!!

'91 TAKAMATSU 国際交流講演会

～激変する世界の動きをテーマに～

最近の国際情勢についての理解を深め、また、今後の国際交流活動のあり方を探り出す機会として、11月21日に、国際交流講演会を開催しました。地域や職場などから約220の方が参加され、三野理事長のあいさつの後、浅井信雄神戸市外国語大学教授の「激動の波、中東からソ連へどうなる世界新秩序」、続いて中嶋嶺雄東京外国語大学教授の「社会主義世界の変貌とアジア」をテーマとした講演が行われました。

昨年来の中東湾岸戦争や、ソ連、東欧諸国の激変、中国の現状など、大きく揺れ動く国際関係について、最新のホットな情報なども交えながら、明快な語り口で解説する両講師の講話に聞き入り、世界の動きと我が国の立場などについて認識を深めました。



浅井信雄先生



中嶋嶺雄先生

TAKAMATSU 国際理解講座

～教えてください、あなたの国を～

国際理解講座は在住の外国の方を講師に迎えて、母国の紹介や参加者との意見交換を行い、みんなで国際理解を深めました。

8月22日、9月5日の講座には約80人が参加し、なごやかな雰囲気の中で、興味ある異文化の話に耳を傾け、また、質疑応答にも時のたつのも忘れるほど有意義な講座になりました。

現在どんな産業、どんな人材が望まれているのかの質問には、中国では今建設ブームであり、建設関係技術者が歓迎されているとのことでした。音楽については、アルゼンチンでは友達同志や、家族で食事をしながら楽器を演奏したり歌ったりして、生活をエンジョイしているといった楽しい生活の一端がうかがえました。

また、競争社会で育った日本人を、ヨーロッパ人から見ればど

なに感じるかについては、日本の父親はもう少し家庭生活に関心を持ち、子供の養育にも心を配ってほしい。他の分野ではよく頑張っているが、もう少し休みを取ってほしいと、非常によい意見を提供していただきました。

タイの話では、タイにある象の学校の質問で、学校はすべて私立学校であり、「人間と共存」の方針で、約2年間調教や仕事の仕方を教える。現在象の需要は多く、失業象はいないとの、象の経済貢献の話でした。

また、8月31日のインド料理講座では、日頃料理に慣れな



講話風景



インドの講師

料理実習

い男性達もあわせ約70人で、インド風カレー、パン、ティーなどスパイスのきいた料理を一緒に作り、にぎやかな料理講習会になりました。次のページに、各講師の話しの概要を紹介します。

アルゼンチンの話

(アンヘリカ・百合子・中西)

アルゼンチンは南半球に位置しているので、日本とは正反対の状態ですが、日本とよく似て細長い国です。面積は日本の約7倍、人口は約3,200万人を有し、土地が肥沃で農産物も多く、酪農が盛んで、牛が人口の2倍6,400万頭、羊が約3,200万頭います。森林や湖が多く点在し、日本とよく似ている所も多くあります。

日常的には音楽を楽しみながら、食事をする習慣があり、皆がいろいろな楽器を持っています。

アルゼンチンで安いものは、日本と反対で、牛肉、牛乳、革製品、羊毛などです。ですから来客の接待にピフテキは禁物です。(一番安価で、来客に手抜きしたことになります。) 鶏、豚、魚料理が高級で、来客の接待として好まれています。

首都ブエノスアイレスは、1516年スペイン人によって整備され、街は碁盤目に作られます。タンゴ発祥の地であり、カラフルな建物が多く、古い建物の多くはヨーロッパ調です。広場が市内に150カ所もあり市民の憩いの場となっています。最近、日本企業も進出し、生活も電化が進んでいます。



アルゼンチン

スイスの話

(マルセル・ブレニマン)

教育については、日本の教育活動は数字で評価する教育が多く、進路指導も一方通行であり、路線に合わない子供はみじめです。スイスの学校では登校拒否は全くなく、授業についていけない子は、親と先生が話し合い、留年などを決めます。塾などなく、学校の授業についていけない時は、先生の所でプラスアルファの勉強をします。普通に宿題をやれば十分ついていけるので、子供は非常にのびのびしています。

スイスのおいしい食べ物はチーズフォンデュ、夏は果物や乳製品等です。

美化については、高松は道路に空きカンが多いですが、スイスでは町中の随所にゴミ箱が設置されていて、町や山は大変きれいです。スイスのスーパーマーケットには、空きカン、空きビン等、4種類ほど穴の開いたコンテナを置いてあり、定期的にそのコンテナを回収に来ます。

今年は、スイス誕生700年になり、永世中立政策をとっているスイスでは現在、ECに加盟すべきか、否かの選択に迫られています。



スイス

中国の話

(李 佳 坤)

4,000年の歴史がある中国には、男女の役割分担の歴史も4,000年の足取りがあり、女性の立場からその男女平等について話します。

1949年、中華人民共和国が成立以来、共産党の男女平等政策が実施され、毛沢東の「女は天の半分を支えることができる。」というスローガンにより、女性の社会進出が目覚ましく、責任的地位が男性をしのいでいる職場もあります。給料等は男女同一賃金制をとっています。

共働き家庭が多く、男性も家事を平等に分担し、料理も女性より上手な男性が多いのです。日本の男性はあまり家事分担をしていないように思います。

中国の会社は7:30出勤で、昼休みは11:30から13:00までです。夏は11:30まで仕事をし、13:30から仕事を始めます。2時間の昼休みの間に食事をしたり、昼寝をしたりします。

42年間の社会主義政策により、多くの会社が国営や公営で、職員は公務員です。自治会も国の一つの機関で、芸能人も国の楽団、映画撮影所に所属し、公務員としての給料をもらっています。中華人民共和国成立以来、国民は平等に慣れ、不平等には抵抗を感じています。ですから、心の中にしっかり根を下ろしているのは、平等という考え方です。



中華人民共和国

タイの話

(ワンチャイ・ウオーラワタナメーテイクル)
(ソムチャイ・イシチャイクル)

タイはミャンマー、ラオス、カンボジア、マレーシアに接し、年間3つの季節があります。国民の93%が仏教の信者で、大きなパゴダのある寺院が多く、タイ人の信仰の厚さを物語っています。

タイには民族衣装をつけたたくさんの踊りがあり、チェンマイの花祭は楽しく、有名です。また、日本の歌舞伎に似たタイの王様や神様の踊りも有名です。タイ各地の踊りや祭を通して、人々の生活を見ることができます。

また、世界でただ一つの象の学校があり、調教や仕事の仕方を教えています。象はお金さえあれば、誰でも買うことができます。タイには河川が沢山あるので、水上マーケットが多く、市民の生活を支えています。

タイの有名な食べ物に、タイカレー、ドミヤンがあります。タイカレーは日本と違い、ココナツから作り、少し辛めです。ドミヤンは辛くてレモンの味がするもので、チキンとシーフードを入れて作ります。果物は、メンコステン、リリエン、パイア、ココナツなど多くの種類に恵まれています。

民族衣装の一つとして、綿や絹の大判のサツシュがあり、一枚でいろいろな用途に使うことができ、大変重宝です。



タイ

協会シンボルマーク決定!

協会のシンボルマークの募集には、210点の応募があり、その中から、二村章代さん(高松工芸高等学校3年)の作品が最優秀賞に決まりました。また、優秀賞2点には富岡静男さん(高松市木太町)と森美雪さん(高松工芸高等学校3年)の作品、佳作には32点が決まり、9月26日に、表彰式が行われました。



青い地球は国際親善、グリーンのトライアングルは平和で豊かな高松市、そして友好、平和、平等の統合と発展を表し、英語の頭文字 TIA をあしらい、マーク全体として、「平和で世界に開かれた都市・高松」の実現を目指して市民参加による幅広い国際交流活動を展開する協会をイメージさせています。

■ 姉妹都市トゥール市を訪問して ■

トゥールの思い出

姉妹都市親善留学生 笠居 佐都美

フランスにあこがれ、長い間フランス語を学び、そしてかなったフランス留学でした。

トゥール市の中心地には、ビュー・トゥールと呼ばれる古い町並みが残っています。それが実にいい雰囲気です、よく足を運びました。地震がフランスにはほとんどないため、石で建てられた建物が長く残っています。そして、食べ物の市、花市、アンティーク市が毎週2回開かれ、いつも賑わっています。古くからの習慣やものがたくさん残っているように思っています。

3か月通ったトゥーレーヌ語学学院は、100年以上の歴史を持つ外国人がフランス語を学ぶための学校です。そのため、古くから外国人が多く住み、外国人のホームステイを受け入れている家庭も多く、町の人達もどうやって外国人に接すればよいかということを知っているようです。本当に外国人に優しい町でした。たとえば、銀行に外国人専用の窓口があったり、お店で店員さんの言っていることが理解できないときには何度もゆっくり繰り返してくれました。外国人との交流会をすれば会場に入りきれないくらいの人が集まり、市民の力で、トゥーレーヌ仏日協会が運営されており、一人ひとりが外国に関心をもち、外国人を受け入れているように思いました。国際性という点では、トゥールは感動の多い町でした。

日本語を学んでいる人達、日本に興味を持っている人達と知り合いになることができました。日本の話に耳を傾け、フランスの習慣を教えてくださいました。その家のとっておき

のワインと日本では珍しい食べ物をごちそうになりました。

フランスといえば、パリのようにファッションと芸術のきらびやかなイメージを持たれがちですが、田園風景の中の広い家で、家庭料理とおしゃべりで過ごす時間がフランスらしいと思います。

そういう習慣が大好きです。

町には、日本の製品があふれ、同じ地方で甲南学園が開校し、また日本企業が

進出を決め、フランス人の日本への関心も高まってきています。経済面だけでなく、人間のふれあいの面でも貢献できる日本でありたいと思います。

3か月間で、数えきれない方々と出会い、親切を受け、素敵な思い出で一杯です。帰国するときも、ホームステイ先のマダムや、知り合った家族の方々は私を娘のように抱きしめてくれました。クラスメートも何年も一緒だったかのように送ってくれました。人との交流がこんなに素晴らしいということに改めて感じています。そしてこれで私の国際交流が終わったのではなく、これから始まるのだと思います。トゥールで知り合った人達との友情を続けていくと同時に、高松を訪れる外国人の方々の思い出づくりのお手伝いができたらと思っています。

(1991.3.29~6.23)



市民海外親善使節団に参加して

仏山国際交流会 竹田靖子

「フランスの庭」と呼ばれるトゥール市は、パリの南西約235キロメートルにあり、市の中心部を流れるロワール河にはぐくまれ、今でもその川沿いにはアゼル・リドー城やルイ11世で知られるロッシュ城等、ロマンの香り高い多くの美しい古城が残っています。歴史と伝統の町であるとの強い印象を受けました。

私達はトゥールで熱烈な歓迎を受け、団員13名皆、滞在中は大変ハードなスケジュールではありましたが、穏やかに過ごすことが出来ました。トゥールを訪れた中で、私が印象に残った事が2つありました。

まず1つは、トゥールにある甲南大学のトゥーレーヌ甲南学園です。100名近くの日本人中学生そして高校生が学んでおります。素晴らしい環境と自由な校風、そして何よりも、成長途中の子供達が海外で、色々な国々の人々と接して日常の中で国際交流を体験しています。国境を越えて世界的な視野に立った物の見方ができる事等、日本にいる私達が見ると羨ましい限りです。これから日本を支えていくであろう若者達にとって、こ



こでの経験は素晴らしいものとなることでしょう。

そしてもう1つは老人ホームです。60才以上の人が25,000人いるトゥール市では、8ヶ所の老人ホームがあります。ここでは費用のあまり払えない人でも入所出来る様な仕組みになっています。福祉が充実しているのです。

老人達の生活は、印で押した様な画一的なものではなく自由な生活を楽しめる様になっています。例えば、自分の家具を持ち込めること、そして彼らの食事は本人の意志で部屋で自分で作り、食べることも出来ます。

滞在中、私にとってのビッグニュースは、トゥーレーヌ仏日協会の人々が私の生け花に大変興味を持たれ、日本の伝統文化をトゥールの人々に紹介したいので、花の展覧会を開いて欲しいという話が出た事です。訪れて、すぐにこの町が好きになった私にとって願ってもないことです。1日も早くこの企画が実現することを祈っています。

10月30日、トゥールを発ち、ドイツの首都ベルリンへ向かいました。1990年10月3日、東西ドイツが統一され、ベルリンの壁が壊されました。私もみやげ店でこの石を買いました。1つの民族を2つに分けられた人々の歴史は、この石の様に崩すことは出来ないのです。

歴史を動かすのは、市民の小さな力、行動からだだと思います。私も生け花を通して人々の生活に夢を与え、国を問わず活動を続けて行きたいと思っています。(1991.10.25~11.4)

高松が好きです

ボグダン・ブチュコフスキー (ポーランド)

高松の印象

高松は絵に画いたような美しい都市です。美しい山々や海、青い空、新緑などは、私達にギリシヤの風景を思い起こさせます。特に中心街は、現代的な都市です。

ですから、たくさんの自転車と旧式な電車やバスを見ると、一種の時代錯誤のように思われます。夕方になると、街は休日でも非常に静かで小さな町ようになります。祝祭日以外は、公園や海岸ではほとんど人を見かけることはできませんし、戸外で遊んでいる子供達もあまりいないようです。

日本との習慣の違い

日本人は、普通夫婦でパーティや会合にはあまり出席しないようですが、ポーランドではパーティや会合には夫婦で出席するのが、ほとんど決まりになっています。また、夫婦でレストランや、喫茶店、映画館、劇場などへもよく行きます。

ポーランド人は人に会ったり、別れのあいさつをするときは、握手をします。特に男性はそうします。また、男性はあいさつの際、よく女性の手にキスをします。

部屋に入ったり、出たりするときは女性を優先します。また、男性は電車やバスを先に降りて、女性に手を差ししのべ、女性の手助けをします。

日本人は万事綿密な計画を立てて、大きなグループで余暇を過ごしますが、ポーランド人は、家族か友達同志の小グループで余暇を過ごすのが好きです。

日本と違って、ポーランドでは、喫煙できる場所は国の法律で厳しく制限されています。学校(大学を除く)や病院、電車やバスの駅(プラットホームも)、銀行や郵便局等においては、喫煙することは禁じられています。また、たばこの宣伝をすることは、どんな形ででも禁止されています。

私達はお米をあまり食べませんが、食べる場合は、冷えたご



紹介

ボグダン・ブチュコフスキーさんは、ポーランド、ウッジ市のウッジ大学教授です。

1年前から、高松市の香川大学へ経済学の研究生として留学してきています。

読書とダンスが趣味の明るく聡明なマウゴジタ夫人と、宮脇保育園児の息子さんコンラッド君の3人家族で、昭和町に住んでいます。

飯は好きでないので温かくして食べます。また、ポーランドでは刺身は食べません。主食としては、ゆでるか、フライにしたポテトを、肉や野菜サラダ(またはフルーツサラダ)と一緒に食べます。

私達は朝食や夕食に、パンを食べますが、日本で食べるパンとはずいぶん違っています。そして毎日紅茶を沢山飲みます。

日本で困っていること

私は靴を買う時、私がほしいサイズより小さいものばかりで困っています。また、妻も体が大きいので、気に入ったサイズの靴やブラウス、スカートなどを買うことがむずかしい。日本語がまだ上手でないので、不便なことがあります。

好きな日本料理

妻: てんぷら(特にえび)とラーメン

私: てんぷら、ラーメン、うどん、刺身、お好み焼

高松の国際化への私の提案

近隣諸国からだけでなく、世界各国から俳優や、歌手、画家等の芸術家を招待し、その国々の展示会や映画等のすばらしい作品を紹介するイベントを行うのはどうでしょうか。

日本人と外国人の若い芸術家達の作品コンテストを開催するのもよいと思います。(それほど費用はかからないと思います。)

英語圏の国々ばかりでなく、他圏の人達に対するボランティアのホストファミリーを増やしていくことが必要だと思います。世界中にはホームステイをしたい人達が約10億人もいます。そうしないと、地球的な国際化にはならないと思います。

セント・ピーターズバーグ市からの
第26回姉妹都市招へい教師

ジェームス・ヴォニッシュ氏

高松市の姉妹都市、アメリカ フロリダ州 セント・ピーターズバーグ市から、高松一高の英語科講師として、ジェームス・ヴォニッシュ氏(22才)が、1991年9月3日に来高しました。

ヴォニッシュ氏は1992年8月末までの一年間高松市に滞在予定で、一高での勤務のかたわら、市民学校や市内の中学校で英語を教えています。英語講師として、「辞書にないような生きた英語を教えると共に、英会話だけでなく、アメリカ文学や詩にも触れてもらえる機会を作りたい。」と張切っています。

趣味は、登山、ハイキング、野鳥観察および合気道などです。高松市宮脇町の市職員住宅に住んでおり、暇をみつけて

は、石清尾八幡境内の散策や、峰山へのハイキングを楽しんでいますが、いつか讃岐山脈登山に挑戦してみたいとのことでした。



高松一高での授業

また、現在、高松市内の道場で毎週合気道を習うかたわら、高松市国際交流協会主催の日本語講座に通い、日本語の勉強にも力を入れています。

先日は、徳島の吉野川で日本人の友人とカヤックを楽しんだ際、四国の大小の山々に感動したそうです。

TAKAMATSU INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS NO.2

EVENT

CULTURAL CIVIC CENTER

● PLANETARIUM

Enjoy the movement of the heavenly bodies of the four seasons at the planetarium.

Theme : The stars above the Nile (Jan. 5 - Apr. 12)

Time : From 13:30 and 15:15 (about a 40-minute program) on Saturdays, Sundays, and national holidays. Also offered on weekdays during spring vacation.

Place : The planetarium room on the 5th floor of Cultural Civic Center.

Admission : Junior high students and under ¥ 50
Senior high students ¥100
Adults ¥200

● AN EVENING WITH MUSIC AND STARS

Enjoy beautiful music while looking up at the stars. It is all possible at the planetarium.

Time : From 16:10 to 17:00 on the 3rd and 4th Saturday of every month.

For : Junior high students and over.

Place and admission : The same as the program listed above.

* For further information, contact Cultural Civic Center. (Matsushima-cho 1-chome, ☎ 33-7722, Closed on Mondays.)

SPORTS

● MONDAY HIKING

Date : Feb. 3 (Mon.)

Course : From Konomune to Sugezawa

Meet in front of City Office at 8:30 a.m.



● SUNDAY HIKING

Date : Feb. 16 (Sun.)

Course : From Kojima to Washuzan (Okayama Prefecture)

Meet at JR Takamatsu Station.



● MORNING MINI-MARATHON

Date : Jan. 14 (Tue.)-Jan.23 (Thu.) 5:40-6:30 am.

Mar. 10 (Tue.)-Mar. 19 (Thu.) 5:40-6:30 am.

Courses : Each elementary school district will set a different course.

* For further information and application, contact Citizen Sport Section. (10th floor, City Office, ☎ 39-2626)

● NEW YEAR CHILDREN'S GATHERING

Many joyful events will be held for children and those young at heart.

Date : Feb. 2 (Sun) 10:00-16:00

Place : Tamamo Park (Tamamo-cho)

* For further information, contact Social Education Section. (10th floor, City Office, ☎ 39-2633)

TAKAMATSU CITY MUSEUM OF ART

● PAINTINGS FROM WADSWORTH MUSEUM OF ART

Masterpieces, by artists such as Goya and Matisse, owned by one of the oldest and most prestigious museums in the U.S. will be on display.

Period : Until Feb. 26 (Sun)

Admission : Adults ¥900

● BOKKEI AKASHI'S LACQUER WARE EXHIBITION

The retrospective exhibition of Bokkei Akashi, who is a native of Takamatsu and a prominent figure in lacquer ware art will be held.

Period : From Mar. 13 (Fri) to Mar. 29 (Sun)

● PERMANENT EXHIBITION

Exhibition of artwork owned by Takamatsu City Museum of Art.

• PERMANENT EXHIBITION ROOM 1

-displays postwar Japanese art and 20th century foreign art prints year round.

• PERMANENT EXHIBITION ROOM 2

-displays Lacquer ware and metalwork made in Kagawa.

* Opening Hours : 9:00-17:00 (9:00-19:00 on Fridays)
Closed on Mondays.

* For further information on exhibitions, contact Takamatsu City Museum of Art. (Kon'ya-machi, ☎ 23-1711)

ANNUAL EVENTS

● "SETSUBUN"

The day before the beginning of spring on the lunar calendar is called "setsubun". This year the day falls on the 4th of February. On this day "mame-maki", or bean scattering, is held at temples, shrines and private homes to ward off imaginary demons, and thereby purifying the area for the coming spring and praying for good luck.

Tamura-jinja Shrine (Ichinomiya-cho, Takamatsu) is famous for its splendid "setsubun" festival.

● "HINA-MATSURI" or DOLL'S FESTIVAL

"Hina-matsuri", or doll's festival, is celebrated on Mar. 3rd. It is also called "momo-no-sekku", or peach festival. Families with daughters celebrate this day by decorating a set of dolls as a prayer for the girls' health and happiness.

INTERNATIONAL FRIENDSHIP HINA-MATSURI PARTY AND CULTURAL EXCHANGE WITH FOOD

Himawari Bunka-koryu-kai, or Sunflower Cultural Exchange Society, will invite foreign residents to share the authentic "hina-matsuri".

Date : Mar. 1 (Sun), from 10:00

Place : The 2nd floor of Takamatsu Nanbu Nokyo

* For further information, contact Ms. Kubo of Himawari Bunka-koryu-kai. ☎ 47-6003.

DO YOU WANT TO STUDY JAPANESE ?

Takamatsu International Association (T.I.A.) offers Japanese language courses to those who wish to learn basic Japanese conversation. 54 students from 12 countries are now studying enthusiastically in these courses.

Qualification and application :

Anyone who lives or works in or near Takamatsu City is eligible.

Apply at the T.I.A. office with ¥1,000 for the class fee.

Course information :

Courses : (1) Basic Japanese (in English)
(2) Basic Japanese (in Chinese)

Period : (1) 20 class session on Fridays, Oct. 18, 1991 to Mar. 13, 1992

(2) 20 class session on Tuesdays, Oct.15,1991 to Mar. 17, 1992

Time : 18:00-20:00

Place : Meeting room of Takamatsu Shiminkaikan (Civic Center: next to City Office)

Class : (1) and (2) both have two groups, Basic I (for beginners) and Basic II (for those who completed Basic I or are at the same proficiency level).

* You can apply mid-course as long as the class has openings.

SUBSIDY FOR FOREIGN STUDENTS STUDYING AT PRIVATE EXPENSE

T.I.A. provides foreign students studying at private expense in Takamatsu with subsidies to lessen their living and studying costs.

▽ Applicant's qualifications (must meet all conditions):

- Foreign students must be studying at private expense in a graduate school, college, junior college, or technical college (4th grader and over) in Takamatsu.
- must be a resident of Takamatsu. (No age limit.)
- must have joined or plan to join the National Health Insurance Plan.
- must not be receiving other scholarships that amount to more than ¥45,500 per month.
- must have a record of excellent academic achievement and must be in need of financial support.

▽ subsidy : ¥10,000 per month

* For further information, contact T.I.A. or the section in charge of foreign students at your school.

EXPERIENCE JAPANESE FAMILY LIFE THROUGH HOME-STAY OR HOME-VISIT !

Contact T.I.A. if you want to experience Japanese family life through a home-stay or a home-visit. We have a registration of volunteer families who can accept home-stays or home-visits from people of other countries. We will introduce you to a volunteer family who meets your requests.

PUBLICATIONS WITH INFORMATION ON TAKAMATSU

● Living Guidebook and Map

"Guidebook for Living in Takamatsu" contains useful information as a daily life handbook for foreign residents in Takamatsu. It is written in English and Japanese.

"Guide Map of Takamatsu" shows major public facilities and transportation routes in Takamatsu. It is written in English and Japanese.

● Sightseeing Pamphlet

"Marine City Takamatsu" introduces sightseeing spots, festivals, special products, etc. in three versions: English-Japanese, French-German-Spanish, and Chinese-Hangul.

● "Profile Takamatsu"

The outline of the city administration includes the present condition of Takamatsu City and its future ideas. This is written in Japanese, English, French and Chinese.

* The publications listed above are available at the T.I.A. office at no charge.

* The T.I.A. office contains various materials such as books, video tapes, and photos on our sister and friendship cities. Also included are materials on community-based international activities. Some of the holdings may be checked out.

Please feel free to contact T.I.A. for information on community-based international activities.

Takamatsu International Association ☎ 39-2197
Takamatsu City Office 7F, Ban-cho 1-chome,
Takamatsu, Kagawa 760

NOTICE

KAGAWA UNIVERSITY FOREIGN STUDENTS' GET-TOGETHER

All foreign students studying at Kagawa University are invited.

Date : Jan. 17 (Fri), from 17:30

Place : Kagawa University Student Hall

* For further information, contact General Affairs Section of Kagawa University at ☎ 61-4141

IN NEED OF LIVING SUPPLIES ?

Busshozan Kokusai-koryu-kai, or Busshozan International Exchange Society, provides foreign students and trainees with bicycles, kitchen utensils, and other living supplies. If you are in need of living supplies, contact Ms. Sogo at ☎89-1419.

国際親善ミニスポーツ大会で交流!

仏生山国際交流会(代表 十河瞳)が、在住の外国人と市民のスポーツを通して国際親善を図ることを目的に、11月10日、仏生山小学校において、第1回国際親善ミニスポーツ大会を開催しました。

在住の外国人たちと市民がお互いにチームを組み、卓球14組、バレーボール14チームと多数が参加し盛り上がるなかで、カ一杯試合を戦いながら、参加者一同、大変楽しく、友好を深めました。(協会後援)



高松北ロータリークラブが姉妹縁組

高松北ロータリークラブとサンアントニオ北中央ロータリークラブが、8月19日に姉妹縁組をしました。サンアントニオ市は、アメリカ合衆国テキサス州南西部に位置し、人口約120万人を有する全米9番目の都市です。

高松からサンアントニオを訪問し、現地で調印式を行い、二つの文化の友好と理解の懸け橋を築くことを誓い合いました。

高松市の6ロータリークラブの中で、海外のロータリークラブとの姉妹縁組は今回がはじめてです。提携の功績により、サンアントニオ市長より、訪問メンバーに名誉市民の称号が与えられました。

今後の活動は、両クラブ会員の子供達が、両国の文化を理解し合うためのホームステイ交換から始める予定です。

会長 川田泰雄 ☎34-2480 (会社)

高松短大バレーボール部が南昌市訪問

高松短期大学のバレーボール部が、親善試合のため、友好都市南昌市を訪問しました。

訪問団(団長 林伸樹学長、団員14名)は、10月2日、3日にわたり、華東交通大学、航空工業大学、江西師範大学と親善試合を行ったほか、市人民政府を表敬訪問するなど、スポーツを通して、青年学生間の友情を深めるとともに、友好都市との親善交流を図りました。

香川日独協会設立

ドイツと日本の親善・友好を深めることを目的に、10月13日に香川日独協会が誕生しました。

文化使節・来日ドイツ人との交流、講演会、音楽会等の開催、ドイツ語講座の開催、留学生の研修、ホームステイの紹介など、ドイツと日本の友好的な交流と会員相互の親睦を目的とした催し物の開催などの活動のほか、ドイツに関する情報の発信・集約基地にしたいと思っています。

10月21日には、ドイツからの音楽大使のチター・デュオ・コンサートを後援し、交流を図りました。

会長 細川清(香川医科大学副学長)
香川日独協会事務局
㈱タダノ開発本部内 ☎39-5566

高松ゾンタクラブ

国内で24番目に国際ゾンタへの加盟が認められ、7月28日に、認証状伝達式が行われました。

国際ゾンタは、国際理解、社会奉仕、女性の社会的地位向上を目的とする婦人の国際クラブです。

今後、国際的ネットワークを持った組織を通じ、地域社会に対する奉仕活動、また国際交流による友好親善など、愛の輪を拡げていきたいと思えます。

会長 真鍋洋子 ☎41-2813

K. I. C. A.

(Kagawa International Cultural Association)

1980年に設立され、はや10年以上が過ぎました。この間、毎月1回、外国人を交えて、日本の文化生活習慣等のみならず、世界のいろいろな事情について英語で話し合う機会を持つてきました。

今までに参加していただいた外国の方々は、いろいろな国から何十人にもなります。お互いの国際理解に役立ってきたことと思います。

これからも、毎月1回高松市市民文化センターで、14:00~16:00の間、開きます。どうぞ御自由に参加ください。

▽日時 1月26日(日) 14:00~16:00

2月23日(日) //

▽場所 高松市市民文化センター

美術室(1/26)

青少年談話室(2/23)

▽連絡先 ☎86-1667 穴吹

高校生英語スピーチコンテスト

高校生による国際理解のための英語によるスピーチコンテストを開催します。

▽日時 2月4日(火) 14:00~16:30

▽場所 オリブホール

▽主催 香川県高校教育研究会国際教育部会 ☎高松一高 61-0244
㈱かがわ海外交流財団

☎62-0730

香川県国際交流活動研修会

講演「国際理解教育と海外協力」(大阪国際交流センター企画課長 降旗高司郎氏)および事例発表。

▽日時 1月23日(休) 9:30~15:40

▽場所 ラポール・イン・タカマツ

▽主催 香川県ユネスコ連絡協議会

▽連絡先 香川県文化行政課

☎31-1111 内3283

香川大学外国人留学生交歓会

▽日時 1月17日(金) 17:30~

▽場所 香川大学学生会館

▽対象 香川大学受入外国人留学生

▽連絡先 香川大学庶務課 ☎61-4141

国際親善ひなまつり会と食文化の交流

ひまわり文化交流会では、在住の外国人の方達と共に、日本古来のひなまつりを楽しむ企画をしています。

▽日時 3月1日(日) 10:00~

▽場所 高松南部農協2階

▽連絡先 ひまわり文化交流会

☎47-6003 久保

生活用品などを留学生に!!

留学生、研修生等に生活用品などの支援を行っています。

家庭で使用していない自転車、台所用品などの生活用品がありましたら、お寄せください。

▽連絡先 仏生山国際交流会

☎89-1419 十河

◎留学生、研修生などで、生活用品が必要な場合は、上記まで申し込んでください。

ヒッポファミリークラブ

赤ちゃんから大人まで、家族で多言語を楽しみながら習得し、国際交流を活発に行っています。気楽な気持ちで参加してみませんか。

▽連絡先 ☎35-2079 木村/62-4814 野口

日本語講座開設中

基礎的な日本語の日常会話を学びたい人を対象に、日本語講座を開設しています。

現在、12カ国54人の受講生が毎週熱心に学習しています。

▽受講対象者

高松市内および近郊に居住もしくは勤務する外国の方や帰国子女の方

▽申込方法

受講料1,000円を添えて当協会へ。



◎受講は、途中からも受け付けていますが、受講者が多くなった場合は、締め切ることがあります。

コース	日本語講座初級（英語対応）	日本語講座初級（中国語対応）
クラス	①初級（Ⅰ）——初歩 ②初級（Ⅱ）——初級Ⅰ修了程度	①初級（Ⅰ）——初歩 ②初級（Ⅱ）——初級Ⅰ修了程度
期間	10月18日～3月13日 20回	10月15日～3月17日 20回
時間	毎週金曜日 18:00～20:00	毎週火曜日 18:00～20:00
会場	高松市立市民会館（市役所西隣） ①第4会議室（2階） ②第2会議室（2階）	高松市立市民会館（市役所西隣） ①第2会議室（2階） ②第4会議室（2階）
講師	①新田 恭子 ②安部 剛	①長谷川 隆 ②毛 勇
受講者	①18名 ②14名（12/1現在）	①9名 ②13名（12/1現在）

私費外国人留学生留学助成金の支給制度

市内の私費外国人留学生を対象に、生活や勉学に関する負担の軽減を目的として、留学助成金支給制度を実施しています。

▽資格・条件

- ・市内の大学院、大学、短期大学、高等専門学校（4年生以上）に在籍する私費外国人留学生。
- ・市内に居住する者。年齢不問。
- ・国民健康保険に加入している者または加入しようとする者。
- ・月額45,500円を超える他の奨学金を受給していない者。
- ・学業成績が優秀で、留学生活上、経済的援助を必要とする者。

▽助成額 月額1万円。

▽問い合わせ

在籍する学校の留学生担当課または協会へ。

後援および事業費助成

当協会では、国際交流団体等が自主的に企画、実施する国際交流関係事業に対して、後援や事業費の助成を行っています。それぞれ所定の様式での申請が必要です。

事業費の助成は、同年度に同一団体が1回、事業費の3分の1以内（限度額20万円）となっており、助成対象経費の制約などがありますので、協会までご相談ください。

生活ガイドブックとガイドマップ

高松に住む外国人の日常生活の手引きとして各種の便利な情報を日本語と英語の併記で記載した「生活ガイド高松」と、主な公共施設や交通路線などを英語併記した「ガイドマップ高松」を発行しています。外国人で入用の方に協会でお渡ししています。（無料）

国際交流ボランティア に登録してみませんか!

国際交流に関心を持ち、ボランティア的な活動のできるみなさんの登録をお待ちしております。

①ホームステイボランティア

日本家庭での生活体験を希望する外国からの来訪者に、民泊を提供できる家庭

②ホームビジットボランティア

外国からの来訪者の訪問を受入れることができる家庭（食事や宿泊の提供は不要）

③語学ボランティア

通訳やガイド、翻訳のできる人

④一般ボランティア

各種の国際交流事業においてボランティアサービスの提供ができる人

◎登録の申込み

所定の申込書により、当協会へ。

申し込みは、いつでも受け付けます。

◎ボランティアの利用申込み

登録されているボランティアを利用されたい方は、当協会へご連絡ください。（利用できる場合の制約がありますので、ご相談ください。）

国際交流基金への寄附に対するお礼

協会の事業は、協会内に設置している高松市国際交流基金の運用から生じる収益金でもって実施しています。

この趣旨に賛同され、基金へ寄附をいただいた方々に、心からお礼を申し上げます。

日本橋不動産㈱ ㈱タダノ ㈱四電工
四国コカ・コーラボトリング㈱
四国旅客鉄道㈱ほか

◎寄附のお願い

協会では、市民レベルでの国際交流の振興のため、国際交流基金への寄附をお待ちしております。

1991年12月 (No.2)



Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会
〒760 香川県高松市番町一丁目8番15号
高松市役所7階
TEL(0878)39-2197
FAX(0878)39-2015
Takamatsu City Office 7F 8-15 Ban-cho 1chome
Takamatsu Kagawa

編集後記

TIA ニュースは、年2回発行の予定です。また、イベントや募集案内の号外を随時発行する予定です。みなさんの国際交流に少しでもお役に立てるよう、このニュースを充実していきたいと思っています。みなさんからの国際交流に関する行事などのお知らせがあれば原稿をお寄せください。

(事務局)

